

株式会社日本農業サポート研究所 令和6年度事業実績

年	月	事業内容
2024年	4月～ 2025年3月	弊社がコンソメンバーになっている「砂地畑園芸スマート農業実証コンソーシアム」(徳島県)のスマート農業の実証試験が行われ、弊社は作業時間集計・経営分析等を担当した。
	4月～ 2025年3月	代表代表が、ひろしま型スマート農業推進事業アドバイザーとして、ひろしま型スマート農業推進事業のコンソーシアムの取組状況の確認及び助言、コンソーシアムへの助言等の実施状況確認をオンラインおよび現地で行った。
	4月～ 2025年3月	弊社代表が秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター外部評価委員として、スマート農業指導士育成プログラム(カリキュラム)の策定する際に検証及び助言を行った(「外部評価」)。
	5月、7月	農林水産研修所つくば館が実施した「新任普及指導センター所長研修(リモート)」において、弊社代表が「ICT・AI農機の存在する農業現場」のデータの講師を務めた。
	6月上旬	台湾でAPO(アジア生産性機構)と台湾CPC(台湾生産向上センター)共催で「野菜生産における革新技術のトレーニングコース」が実施され、弊社代表福田浩一は5回にわたり講演した。
	7月下旬	秋田県立大学「スマート農業指導士育成プログラム」の一環で、アグリイノベーション教育研究センターにおいて、弊社代表が、スマート農業普及論の講義を行った。
	7月下旬	福島県JA会津よつば坂下本店パストラルホールBANGEで「会津におけるこれからの水稲農業経営を考える研修会」が開催され、弊社代表が、「先進地に見るスマート農業の現状とこれからの農業経営」と題して講演を行った。
	8月下旬	新潟県農業大学校で「米・農産物輸出論」の研修が行われ、弊社代表福田浩一が、「農産物輸出の現状・課題と今後の方向性」と題して、シンガポール・タイの最新状況について説明した。その後、稲作経営科の学生が4グループに分かれ、SWOT分析を使って実習を行った。
	9月上旬	徳島市役所で、スマート農業研修会が開催され、農業者及びその関係者約30名が参加。弊社代表が「農業経営に役に立つスマート農業とは？」と題して講演を行った。
	9月上旬	JICA 筑波「稲作技術向上普及員 A コース」研修(アフリカ、フィリピンから計10名の研修員参加)で、「農家支援のためのスマート農業」の講演した。
	9月中旬	農林水産省農林水産研修所つくば館で実施された「令和6年度階層別研修中堅農業革新支援専門員研修で弊社代表が、「スマート農業の展開とAI時代の普及活動」と題して講演を行った。
	10月上旬	マレーシア、タイにおいて、日本農産物輸出およびスマート農業の状況調査を行った。
	10月中旬	熊本県熊本市で令和6年度スマート農業技術導入支援能力養成研修が開催され、弊社代表が「スマート農業の展開とAI時代の指導活動」と題して講演を行った。
	12月中旬	山口県スマート農業導入加速協議会主催の「農業DX推進に向けた研修会(指導者向け)」が開催され、弊社代表取締役福田浩一が「スマート農業の展開とAI時代の普及活動」と題して講演を行った。
	12月下旬	APO(アジア生産性機構)のトーク番組で、弊社代表が「スマート農業の将来像」について語りました。シンガポールとタイで日本農産物輸出実態調査を行った。
2025年	1月～2月	JICA 課題別研修「農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成(A)」が実施され、弊社代表が日本国際協力センターのアドバイザーとして、現地視察などに同行した。
	2月中旬	神奈川県立かながわ農業アカデミーで令和6年度教育計画に基づくスマート農業研修が開催され、弊社代表が「「農業経営に本当に役立つスマート農業とAIの活用」と題して講演した。